



報道各位

2026年1月20日

「FACE 展 2026」開催について

このたび SOMPO 美術館では、「FACE 展 2026」を 2026 年 3 月 7 日(土)から 3 月 29 日(日)まで開催いたします。

FACE は、将来国際的な活躍も期待される才能を顕彰する平面作品の全国公募展です。第 14 回となる FACE2026 には 1,271 名もの作家から応募が寄せられ、厳選された 57 作品が入選、その中から 9 作品が入賞しました。年齢も経歴もさまざまな作家たちによる、時代の感性を映し出す多彩な表現を、ぜひ会場にてご覧ください。会期中には、観覧者の投票による「オーディエンス賞」の選出も行います。また、本展から新たに、前回の受賞者たちを招待展示する「絵画のゆくえ」を併設します。FACE2025 グランプリ受賞者の齋藤大、優秀賞受賞者の春日佳歩、Huang Yuqi、竹内美樹の 4 名が、新作・近作計 32 点を、それぞれのコーナーで展示します。彼らの研鑽と創造の成果を通じて、絵画の魅力とその「ゆくえ」をご体感ください。

展覧会名： FACE 展 2026／絵画のゆくえ 2026

会 期： 2026 年 3 月 7 日(土)～3 月 29 日(日)

休 館 日： 月曜日

開館時間： 午前 10 時～午後 6 時(最終入場は午後 5 時 30 分まで)

観 覧 料： 800 円(高校生以下無料) ※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳(ミライロ ID 可)を提示
のご本人とその介助者 1 名は無料。被爆者健康手帳を提示の方はご本人のみ無料

主 催： SOMPO 美術館、読売新聞社

特別協賛： SOMPO ホールディングス

特別協力： 損保ジャパン

後 援： 文化庁、東京都、新宿区

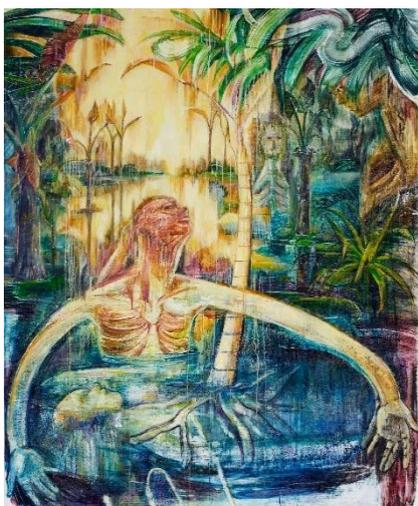
審査員(敬称略、順不同)

椿玲子(森美術館キュレーター)、森谷佳永(神奈川県民ホールギャラリー学芸員)、秋田美緒(国立西洋美術館研究員)、田中龍也(群馬県立近代美術館学芸員)、西脇芳和(SOMPO 美術館館長)

受賞作品

入選作品 57 点からグランプリ 1 点、優秀賞 3 点、U30 フロンティア賞 1 点、審査員特別賞 4 点を選出しました。

グランプリ



吉田 茉莉子 《天泣》2025 年
油彩・蜜蝋・カンヴァス 194×162cm

今、ものすごく制作することの意味を問われている時代だと思う。

戦争・飢餓・虐殺・孤立が世界中で勃発している。

絵を描くことは間違いなく贅沢品であり、生命維持には直結しない。

その状況下で何故あえて絵を描くのか。何故絵でなければならなかったのか。

筆を握るたびに問いかけている気がした。

この日本でも物価高に苦しんでいる作家はとても多いはずだ。

かくいう私もこの作品を制作している時、制作なんかしていないで働いたほうがいいんじゃないかという思いが頭をよぎった。生命維持に直結しない行動に、何の意味があるだろうか。筆を握っている間、生へ向かって行っているのか死へ向かって行っているのか、分からなくなるようなそんな感覚があった。分かりやすく追い込まれていたのだろう。制作と生活を綺麗に両立させることは私にはまだできていない。生活や身体は制作のたびに何回も犠牲にしている。

制作とはちょうど生と死の境界に立って、そのどちらをも肯定しながら筆を進める作業なのかもしれない。

冒頭、社会問題の山積を挙げた。

多くの人々が救済を求めて悲痛な叫びをあげている。そんな現状に寄り添える作品を作りたいと思って制作している。私自身も救済を求めていたが、結果として日々絵に救われている。私が絵に救われたように私の絵で誰かが救われればいい。それが制作中の、そしてこれから私の命が許す限りの、私からの切なる願いである。

吉田茉莉子

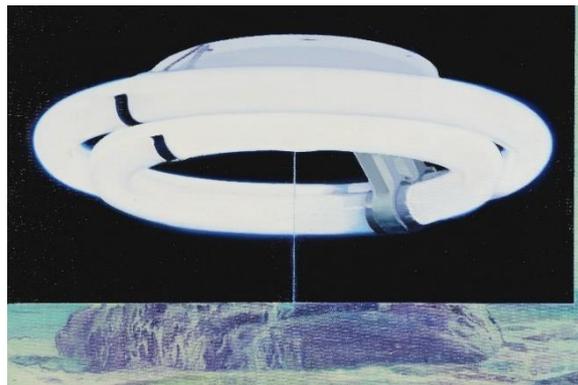


優秀賞



伊藤 陽々咲^{ひびき}《群れ》2025年
油彩・カンヴァス 130.3×162cm

黒澤 匠《幾千年》2025年
油彩・カンヴァス 130×194cm



肥沼 義幸《二柱の祈り》2025年
木炭・木炭紙・パネル 190×160cm

U30 フロンティア賞



アザミユウカ 《曲がった草》2025年
油彩・アクリル・砂・カンヴァス 162×130.3cm

審査員特別賞

(椿玲子審査員)



村尾 伊織 《remind》2025年
油彩・カンヴァス 162×130.3cm

(森谷佳永審査員)



小笠原 礼瑠 《Time slip !!》2025年
油彩・アクリル・カンヴァス 130.3×162cm



(秋田美緒審査員)



澁谷 由貴子 《Life force》 2025 年
ミクストメディア (水彩・アクリル・
麻炭)・パネル 162×130.3cm

(田中龍也審査員)



原 真莉亜 《1月の玉こんにゃく》 2025 年
油彩・クレヨン・蜜蝋・厚紙・
和紙・カンヴァス 112×162cm

ほか入選者 (48名、50音順)

綾部 拓実、石塚 由美子、岩本 麻由、宇野 文音、大河原 基、オオクラ チセ、荻原 賢樹、オコイマツ、及部 薫、折笠 鈴、柿沼 百葉、カク イェリン、鎌田 悦子、上條 暁隆、 KUMI KAWABE 、菊野 祥希、黒石 美奈子、小宮 花風理、シナモン、JEANNIN FRANÇOIS、タイラク ルカ、竹内 美樹、田辺 美那子、寺澤 弥矢、寺脇 扶美、DONANAKO 、ナカニシモエ、中平 果歩、中谷 ゆうこ、温井 大介、林 寿朗、原 多夫志、ヒグチララ、 hiraco、廣島 有華、廣中 真悟、藤原 暖生、細居 隆志、本多 愛実、マーマ、万岡 紘子、松尾 典汰、松澤 幸治、三浦 康栄、宮原 すみれ、本井 克英、吉浦 眞琴、リー・オタワ

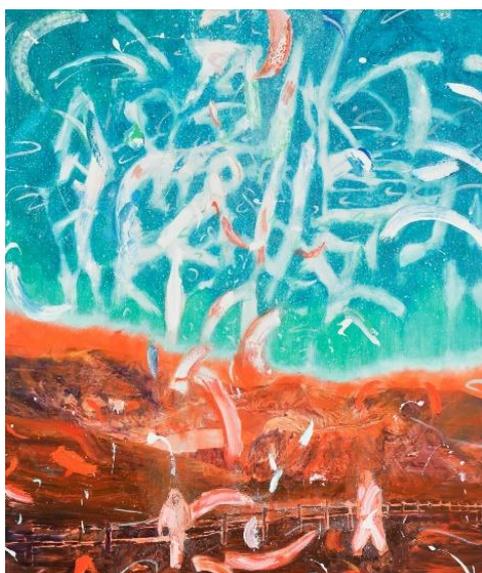
同時開催：絵画のゆくえ 2026 —FACE 受賞作家展

「絵画のゆくえ」は、公募展「FACE」においてグランプリを受賞した1名と優秀賞を受賞した3名、計4名の作家が、SOMPO美術館のそれぞれのコーナーで、新作・近作を5～10点程度展示するグループ展です。2012年のFACE創設以来、3年ごとに12名の受賞者による独立した展覧会として開催して参りましたが、本展からはFACE展会場にて前回の受賞者4名を招待展示する方法へと変更いたしました。

この新しい方法での第1回目となる「絵画のゆくえ 2026」では、FACE2025でグランプリを受賞した齋藤大、優秀賞を受賞した春日佳歩、Huang Yuqi、竹内美樹をご紹介します。

1. 齋藤 大（さいとう・だい） 2001年 宮城県生まれ、山形県在住 Instagram: saitodai1

「人物と自然が融合する風景」を主題に、絵画表現を通じて人と風景の関係性の再構築を試みている。このテーマは、齋藤自身の経験や感覚の蓄積を視覚化する方法でもある。幼少期の記憶やキャンプなどの体験に基づき、自然の中に感じる不可視の力や、祈りにも似た感情を可視化し、共有しようとしている。



■学歴

2024年 東北芸術工科大学芸術学部美術科洋画コース 卒業
同大学 大学院 芸術文化専攻絵画研究領域 入学
2026年 同上 修了予定

■受賞、入選

2024年 Idemitsu Art Award 2024 入選
2025年 FACE展 2025 グランプリ

■主な個展

2022年 「The fall out」TURN ANOTHER ROUND、仙台
2023年 「Fuliten」TURN ANOTHER ROUND、仙台

FACE2025 グランプリ 齋藤大《キャンプファイヤ》2024年 油彩・カンヴァス 194×162cm SOMPO美術館

■主なグループ展

2024年 「東北のいぶき perché 東北芸術工科大学洋画三人展 王露琳・菅原朋晃・齋藤大」銀座スルガ台画廊、東京
「和田竜汰・齋藤大・戸田創史 三人展」GALLERY A8T、仙台
「最上川未来アート展Ⅰ：一途なモグラは空を飛ぶ」荻荘天馬・齋藤大・渡部信隆」最上川美術館・真下慶治記念館、山形（村山市）
「Group Exhibition EPIC PAINTERS Vol.14」THE blank GALLERY、東京
2025年 「東北芸術工科大学卒業生による 手跡（てあと）—東北から紡ぐリアル— Part1」美岳画廊、東京
「AaP2025 Towards The Future」ロイドワークスギャラリー、東京

2. 春日佳歩（かすが・かほ） 1996年 東京都生まれ、千葉県在住 Instagram: kasuga_kaho

春日は、幼少期から昆虫を飼育するなど生き物に興味を持っていたが、「命に感謝し食事をしよう」という考えを突き詰めた結果、“食べ物”が“死骸”に思えて食事がままならなくなったという。アリと共に食べ物を食べる自分を赤裸々に描いた作品は、私たちが日頃やり過ごしている命の営みの生々しさに迫る。



春日佳歩《日常の不具合》2025年
油彩・カンヴァス 72.7×91 cm

■学歴

2015年 東京学館船橋高等学校美術工芸科 卒業

2017年 女子美術大学短期大学部造形学科 卒業

2019年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科 卒業

現在は油絵作家として活動。

所属：新制作協会会友

■受賞、入選

2020年 害蟲展 season1 入選

第38回 上野の森美術館大賞展 絵画大賞

2022年 第85回 新制作展 入選

2023年 第19回 世界絵画大賞展 2023 伊研賞

第86回 新制作展 新作家賞

2024年 FACE展 2024 入選

第59回 昭和会展 日動画廊賞

ART OLYMPIA 2024 入選

第20回 世界絵画大賞展 2024 諏訪敦賞

第87回 新制作展 新作家賞、SOMPO美術館賞

2025年 FACE展 2025 優秀賞

■主な個展

2022年 「第38回上野の森美術館大賞展 絵画大賞受賞者 春日佳歩展」上野の森美術館、東京

2025年 「一血と肉」REIJINSHA GALLERY、東京

■主なグループ展

2020年 「上野の森美術館所蔵作品展 なんでもない日ばんざい！」上野の森美術館、東京

2021年 「昆虫美展 標本とアート」ego-Art&Espresso Bar、東京

「第38回上野の森美術館大賞展 入賞者展」上野の森美術館、東京

2024年 「第86回新制作展 受賞作家展『絵画』」シロタ画廊、東京

第59回日動画廊昭和会展、東京・名古屋・福岡

「FIRST CONTACT」REIJINSHA GALLERY、東京



3. Huang Yuqi (コウ・ユキ) 1997年 中国、深圳生まれ、東京都在住 Instagram: @YUQIQQ7

Huang は留学と転居をくり返した経験をもとに、身体の奥に刻みこまれた記憶や感覚を、その時々「家」をモチーフに表現する。幼少期から親しんだ裁縫を制作に取り入れ、布による色彩の層は記憶の中の物や空間の積み重なりであるという。親密な作品は、日々の営みが私たちが形作ることを静かに提起している。



Huang Yuqi 《Baby Bu》2025年 アクリル・カンヴァス・糸 162×112 cm

■学歴

2015年 John Leggott Sixth Form College (ノースリンカンシャー、イギリス) 高校 修了

2016年 Central Saint Martins, University of the Arts London (ロンドン、イギリス)、Foundation Diploma (アート&デザインの基礎課程)、Jewelry Design (ジュエリーデザイン) 修了

2019年 Central Saint Martins, University of the Arts London (ロンドン、イギリス)、Bachelor of Arts in Architecture (建築学士/RIBAPart1) 卒業

2025年 多摩美術大学大学院絵画専攻油画研究領域 修了

■受賞、入選

2023年 TURNER AWARD 2023 入選

2024年 第42回 上野の森美術館大賞展 入選

2025年 FACE展 2025 優秀賞

■主な個展

2025年 「The Order of Things」3×3 Art Space、東京

■主なグループ展

2023年 「つなぐ展」国立市3ギャラリー合同企画 (コート・ギャラリー国立、アートスペース88、ギャラリー国立)、東京

2025年 “A Room of Her Own: Asian Women, Tokyo Sensibility,” Tryst 2025 Art Fair, Torrance Art Museum, CA, USA

“Between Calmness and Passion” Alt Projects, Arcadia, CA and The Green Gallery, Buena Park, LA, USA



4. 竹内美樹（たけうち・みき） 2000年 群馬県生まれ、群馬県在住 Instagram: @MIKI_TKUCH

人は、他者の姿や鏡の中の自分を見ることによって、自らの内に自分自身のイメージを抱く。竹内は、自身の記憶を主な題材とし、画面に描いた記憶をさらに吟味し、自律的な美をもつ新たな図像へと再構築する。これらのプロセスを考察しつつ「現代においても揺るぎないイメージの現出」を目指している。



■学歴

2023年 多摩美術大学絵画学科油画専攻 卒業
同大学 大学院絵画学科油画研究領域 入学
2025年 同大学院 博士前期課程 修了

■受賞ほか

2023年 多摩美術大学卒業制作 優秀作品選抜
2025年 FACE展 2025 優秀賞

竹内美樹 《shape of ribs》2025年 油彩・クレヨン・鉛筆・カンヴァス 130.3×162 cm

■主なグループ展

2024年 「ART PROJECT TAKASAKI 2024」 主催：高崎アートインキュベーション推進会議・共催：高崎市、群馬県
2025年 内野礼葉・竹内美樹 2人展「膜と幕」 OGU MAG+, 東京

本件に関するお問い合わせ先

FACE展 2026 広報事務局(ウインダム内) 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-11 鴨下ビル 2階

TEL : 03-6661-9447 FAX : 03-3664-3833 e-mail : sompo-m-pr@windam.co.jp